

明石まちねこプロジェクトの実施報告について

1 概要

地域が抱える飼い主のいない猫に関する課題の解決を目指し、令和3年度から3か年計画で西明石南町自治会をモデル地域とした「明石まちねこプロジェクト」の活動を行いましたので、実施内容等を報告します。

2 活動内容

- (1) 活動周知用チラシ等の配布、アンケートによる実態の調査
- (2) 個体数を減少させるために、去勢・不妊手術を積極的に実施
- (3) 適正な給餌の指導及び簡易トイレの設置

3 活動成果

- (1) 令和3年度当初、飼い主のいない猫は47匹(内、すでに去勢・不妊手術済は27匹)でしたが、令和5年度末には、22匹まで減少しました。
また、去勢・不妊手術を施していない残りの猫については、すべて去勢・不妊手術いたしました。
- (2) 地域の方々、老人会及びボランティアの方々と、給餌のルール化、指定場所へのトイレ設置3ヶ所を行ったことで、地域の環境が保持でき、他の地域から餌をばら撒く人が来なくなりました。
- (3) 地域の方やボランティアの方により、人馴れした猫5匹の譲渡を行いました。

4 今後について

今後、あかし動物センターのホームページ等を活用して、この取り組みを紹介していきます。さらに、その内容をガイドブックとしてまとめ、市民センターや各コミュニティセンターなどで配布し、飼い主のいない猫でお困りの地域が同様の取り組みができるよう周知していきます。

また、地域だけでは解決が難しい場合には、適正給餌の指導や猫の保護器の貸出等、あかし動物センターが積極的に後方支援を行います。

5 その他

現在、この西明石南町自治会の活動を参考に荷山町南自治会が飼い主のいない猫に関する課題の解決に向けて不妊手術やトイレの管理などを実施しているところであり、あかし動物センターが積極的に後方支援を行っています。